

仕合わせの

和

第248号

令和4年11. 1

(毎月1日発行)

ごりやく
御利益とは

住職 谷川寛俊

人はなぜ宗教に頼るのでしょうか？ズバリご利益が欲しいからです。神社・仏閣に参りますと、賽銭箱の前で真剣に手を合わせご縁があります様にと五円、五〇円、五百円など願いが叶いますようにとお祈りする参拝者がいらつしやいます。ただご利益だけを願つての参拝では、神様も仏様もお聞き入れになるはずがありません。お経文(きょうもん)の中に「説」と言う字が出てきます。説とは「教え」と言う意味です。「教え」とは、日々感謝をし、少しでも良いから善い行いをする事です。教えに従つて修行したならば、功德は甚(はなは)だ多いと経文では説かれています。教えを實行し努力すれば願いは成就するのです。

教えを実践しないで、ただ祈つてばかりでは、願いが簡単に叶うとは言えません。良い縁に恵まれたと思うなら、或いは願いが成就します様にと思うならば、まず自分が誰に対しても思いやりの心を以つて相手と接し、良い縁になるように努力する。又、日常生活の行動を良くしなければなりません。ただご利益だけ求め、教えに背いた行動ばかりしていたら願いなどお聞き入れ頂けずありません。教えを忠実に守り、感謝の日々を過ごせば良いのですが、人間の欲には際限がありません。願いが叶つたらもっと大きな願いを持つようになり、更にエスカレートしていくものです。「この壺を買えば幸福になれる」とか、「拝むだけで金持ちになれる」、「病気が治り健康になる」など人間の欲望を満足させるような誘い文句で勧誘する



今、世間を賑わしている世界平和統一家庭連合(旧、統一教会)の問題など、現世利益を巧みにそそのるよう吹聴して入信を勧めるいかかわしい宗教に騙される人が未だに後を絶ちません。冷静に考えれば、そんなことは有り得ないと思いますが、とても悲しみに打ちひしがれている時などは、真実が見えなくなります。そういう弱みにつけ込んで巧みに勧誘してくるのです。後になって騙されたと思つても取り返しのつかない事になってしまふのです。努力もせずご利益だけを得たいというのが、そもそも間違つているのです。うまい話は世間には沢山ありますが、ほとんどが眉唾(まゆつば)の類(たぐい)の話です。まずは騙されないようにするには「御利益は商取引ではない」という事をしっかり認識することが必要なのです。

真成寺ホームページ



玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でもお寺につながります。

繰り返し申しますが、教えを日常に取り入れ、教えの様に生きること、その姿を神様仏様は見えておられます。必ずご加護(ご利益)があります。更に、自分磨きをして功德を積みましよ！欲を出さず、日々努力している自分を見守つて下さっている神仏様(守護霊)に感謝する気持ちですが、一番大切なのです。

